

⑨日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑪公開特許公報(A)

昭54-59372

⑫Int. Cl.<sup>2</sup>  
A 47 J 27/04  
F 24 C 13/00

識別記号 ⑬日本分類  
35 A 521  
35 A 53

⑭内整理番号 ⑮公開 昭和54年(1979)5月12日  
6566-4B  
7116-3L  
発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑯スチームオーブン

⑰特願 昭52-123305  
⑱出願 昭52(1977)10月13日  
⑲発明者 浜慶樹

門真市大字門真1006番地 松下  
電器産業株式会社内  
⑳出願人 松下電器産業株式会社  
門真市大字門真1006番地  
㉑代理人 弁理士 中尾敏男 外1名

明細書

1. 発明の名称

スチームオーブン

2. 特許請求の範囲

スチームオーブン本体と、この本体内に設けた  
オーブン庫とを備え、上記オーブン庫は外層と内  
層とにより構成し、上記内層の壁面に複数のスチ  
ーム供給孔を設けるとともに、この内層と上記外  
層との間隙にスチームを供給することを特徴とす  
るスチームオーブン。

3. 発明の詳細な説明

本発明はスチームオーブン、特にそのスチーム  
供給構造に関するもので、その目的とするところ  
は調理物に加熱むらがおきるのを防止することと  
この調理物に水滴が滴り落ちてべとついてしまう  
のを防止することと、オーブン庫内が油分によっ  
て汚れてしまうのを防止することにある。

現在実用化されているスチームオーブンではオ  
ーブン庫の壁面に1個スチーム供給口を設け、こ  
の供給口からスチームを供給している。

このため、オーブン庫内においてどうしても上  
記スチーム供給口に近い部分と遠い部分ではスチ  
ームの影響力が異なることとなり、これにより調  
理物に加熱むらが生じているのが実状である。

また、オーブン庫の壁面温度は低いのでこれに  
スチームが当たると同部で露結してこれが調理物  
に滴り落ちてべとつかせてしまっているのも実状  
である。

そこで本発明は外層と内層とによりオーブン庫  
を構成し、上記内層の壁面に複数のスチーム供給  
孔を設けるとともに、この内層と上記外層との間  
隙にスチームを供給し、これにより上記欠点を解  
消して初期の目的を達成しようとするものである。

以下、本発明の一実施例を添付図面にともづいて  
説明する。

図面において、1はスチームオーブン本体で、  
この本体1の内部にはオーブン庫2が設けられ、  
さらにオーブン庫2の前面開口部にはドア3が  
開閉自在に設けられている。

上記オーブン庫2は外層2aと内層2bによ

り構成され、内層2bの壁面には複数のスチーム供給孔Aが設けられている。

また、上記内層2bと外層2aとの間隙にはポイラで発生させたスチームが供給されるようになっている。

なお、この図面の5はポイラヒータ、6は上ヒータ、7は下ヒータ、8は水抜口、9は水受容器である。

上記構成において、ポイラ4内にはU字管の原理により水が矢印Aのごとく供給され、これがポイラヒータ5で加熱されてスチームとなる。

そして、このスチームは内層2bと外層2aとの間隙に供給され、次に内層2bの壁面に設けた複数のスチーム供給孔Aから内層2b内に噴出しこれにより同内層2b内でスチーム調理が行われる。

以上のように本発明は内層の壁面に設けた複数のスチーム供給孔から同内層内にスチームを供給するものであるから、調理物には上下、左右、前後からスチームが噴き付けられることとなり、こ

特開昭54-59372(2)

の結果調理物に加熱むらがおきることはない。

また、内層の壁面に設けた複数のスチーム供給孔からスチームが供給されるので結果として内層の壁面は高温となり、この結果、従来のようにこの壁面でスチームが凝結し、それが調理物に滴り落ちてべとつかせてしまうことはなくなる。

さらに、内層の壁面は肉汁等によって汚れやすいが、本発明によれば内層の壁面に設けた複数のスチーム供給孔からスチームが噴出するので、この汚れをスチーム洗浄することができ、常にオープン庫内を清潔に保つことができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の一実施例にかかるスチームオープンの断面図である。

1……スチームオープン本体、2……オープン庫、2a……外層、2b……内層、4……ポイラA……スチーム供給孔。

代理人の氏名 弁理士 中尾 敏男 はか1名。

